

# 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

～令和7年度 全国統一防火標語～

## »火災予防運動の実施について

この運動は、毎年、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、西はりま消防組合管内の住民のみなさまへ火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的に実施しているものです。

### «期 間»

- ・春季火災予防運動：3月1日～3月7日



### «春季火災予防運動 重点項目»

1. 住宅防火対策の推進
2. 地震火災対策の推進
3. 林野火災予防対策の推進
4. 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
5. 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
6. 放火火災防止対策の推進

火災はちょっとした不注意や不始末から発生します。

火の取り扱いには十分ご注意願います。

↓↓↓参考資料は下記をご覧ください↓↓↓



# 住宅 防火

# いのちを守る10のポイント

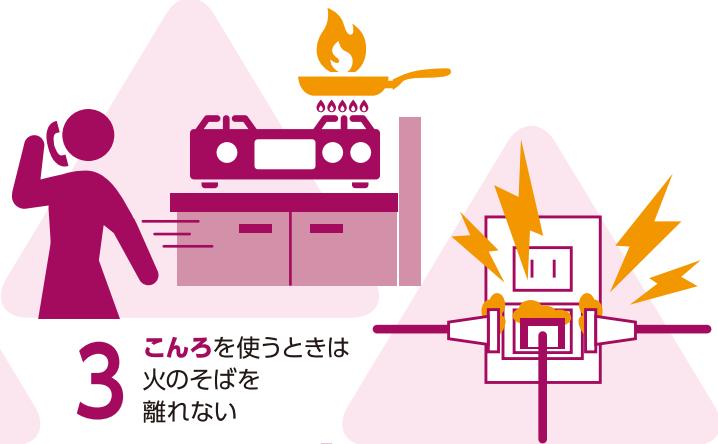
## 4つの習慣



1 寝たばこは  
絶対にしない、  
させない



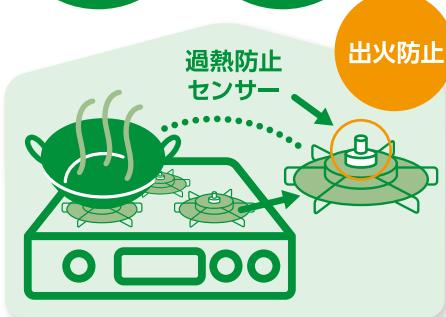
2 ストーブの周りに  
燃えやすいものを置かない



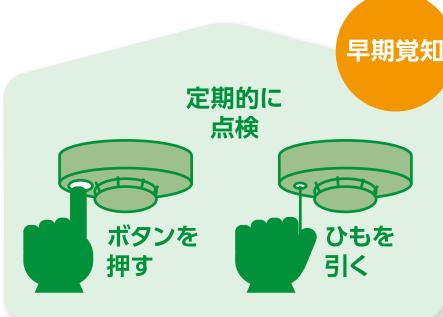
3 こんろを使うときは  
火のそばを  
離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、  
不必要的プラグは抜く

## 6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、  
ストーブやこんろ等は  
安全装置の付いた機器を使用する



2 火災の早期発見のために、  
住宅用火災警報器を定期的に点検し、  
10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、  
部屋を整理整頓し、  
寝具、衣類及びカーテンは、  
防炎品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、  
消火器等を設置し、  
使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、  
避難経路と避難方法を常に確保し、  
備えておく



6 防火防災訓練への参加、  
戸別訪問などにより、  
地域ぐるみの防火対策を行う

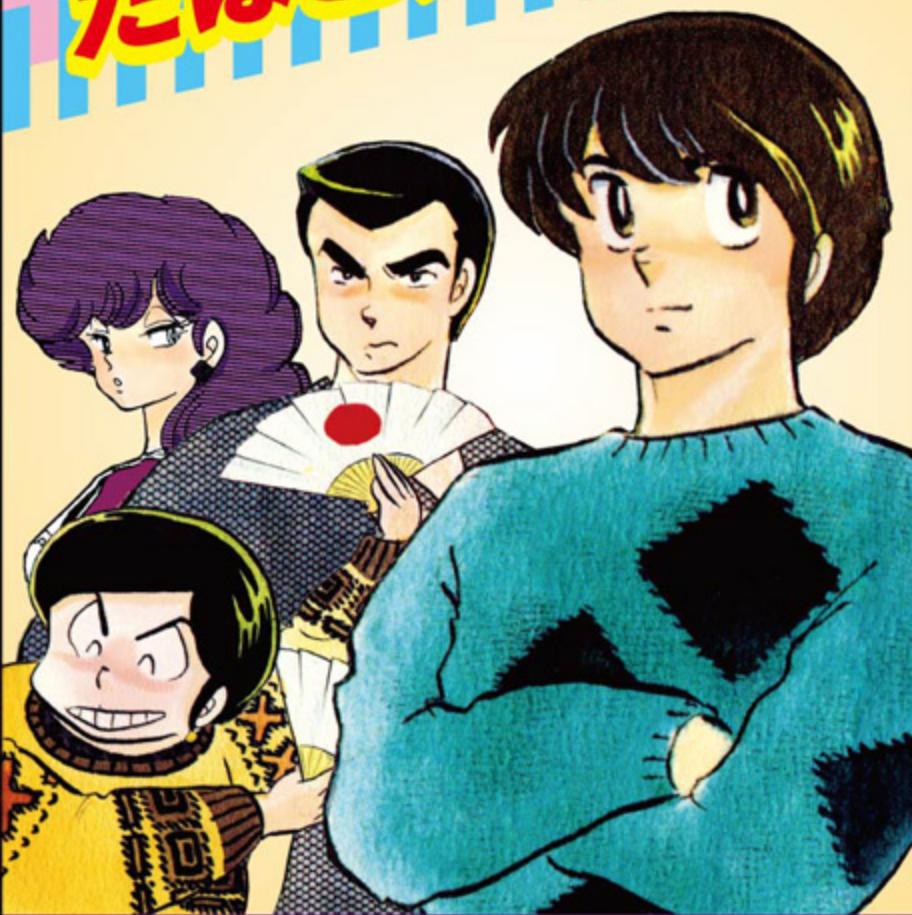
寝たばこを  
やめるのも、  
とめるのも、  
愛情です。

大切な方に、  
「寝たばこ火災に要注意！」  
の声かけを。

## めぞん一刻

©高橋留美子/小学館

# たばこ火災防止キャンペーン



## ストップ! 寝たばこ

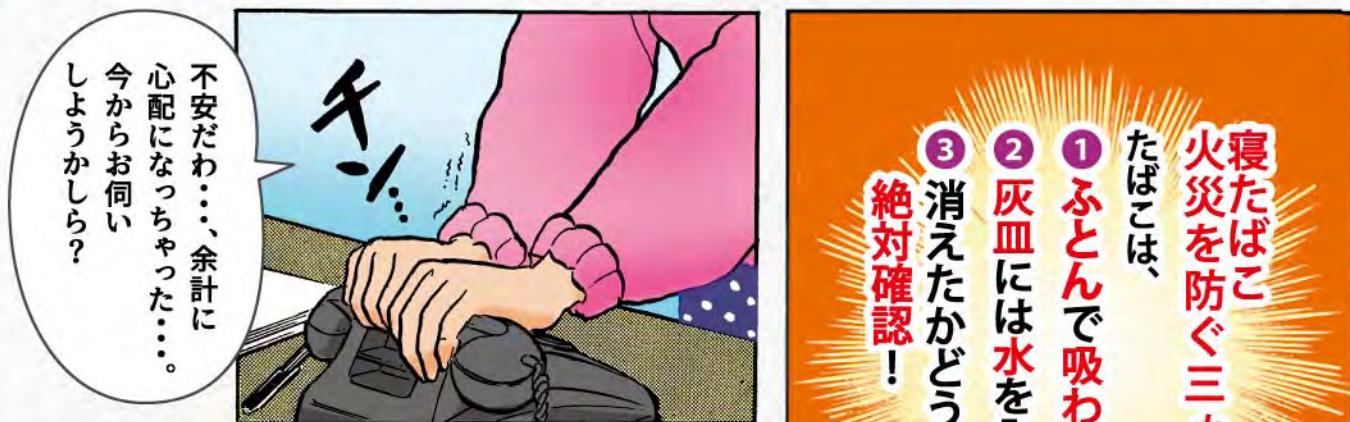
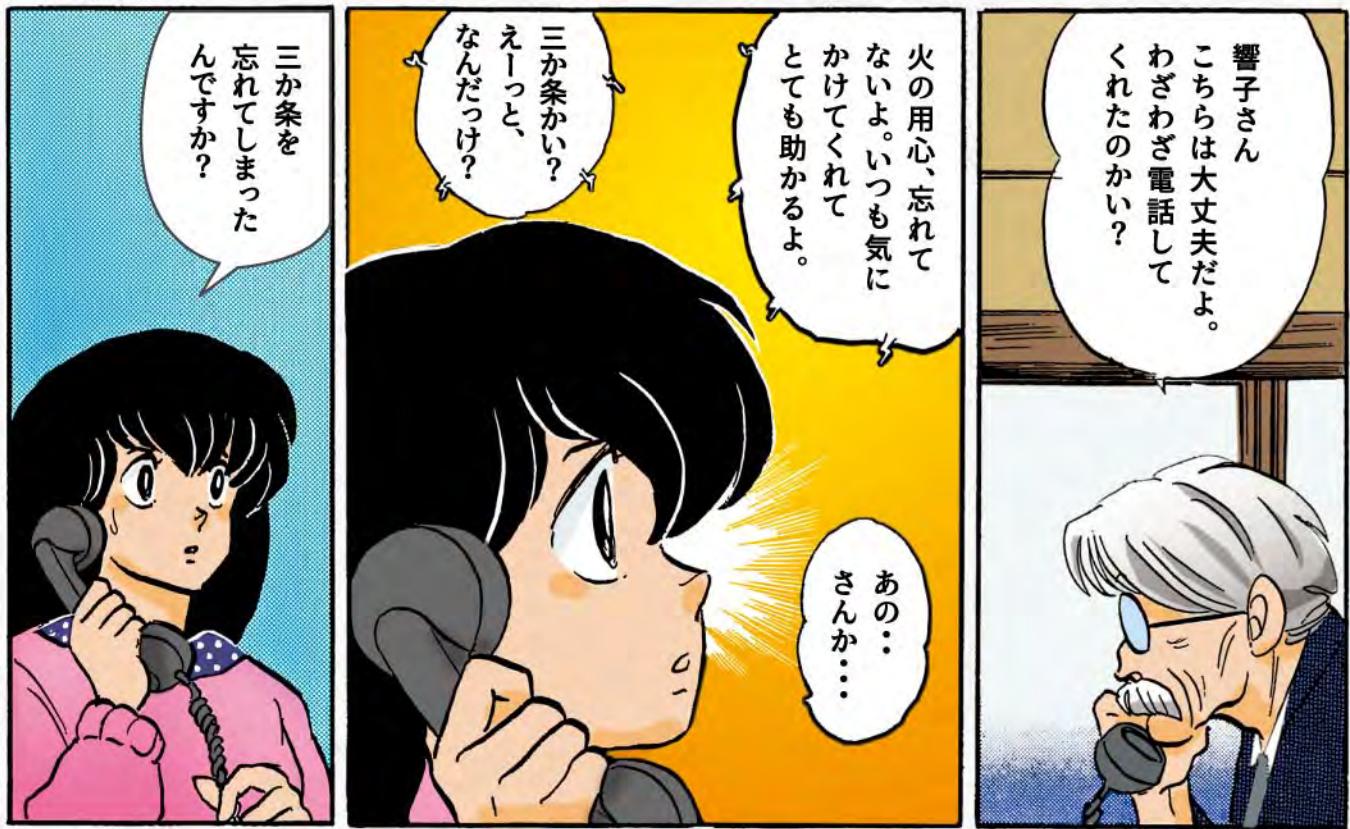
寝たばこ火災を防ぐ三ヵ条

たばこは、

- ① ふとんで吸わない
- ② 灰皿には水を入れて
- ③ 消えたかどうか  
絶対確認！

# 寝たばこ注意も対面希望の巻

STOP!  
寝たばこ



寝たばこ、あなたも気をつけて。

たばこ火災防止キャンペーン

後援: 消防庁 全国消防長会  
制作: 一般社団法人日本たばこ協会

消防署からのお知らせです

# 地震火災を防ぐポイント

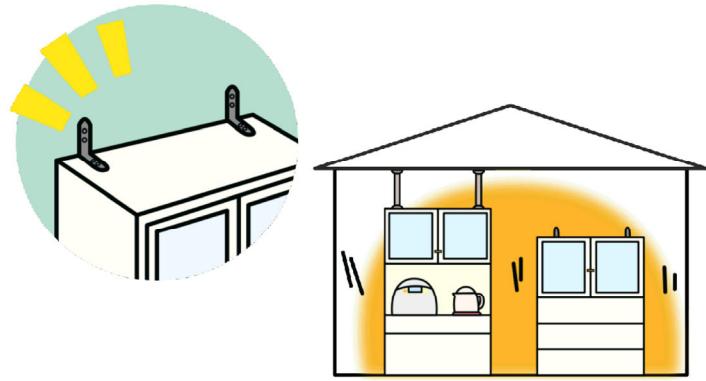
## 地震火災対策きちんと出来ていますか？

### 事前の対策

住まいの耐震性を確保しましょう

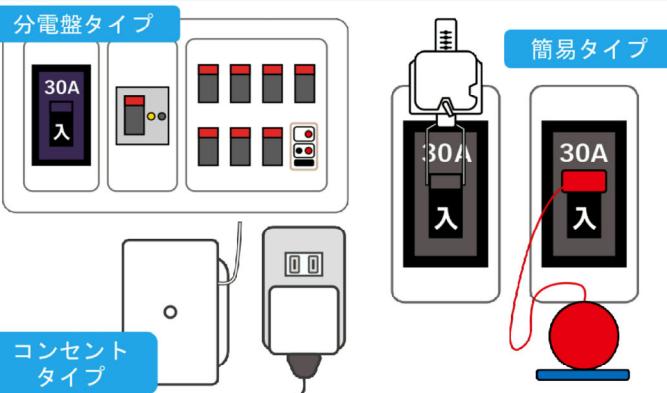


家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょう



感震ブレーカーを設置しましょう

ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう



住宅用消火器等を設置し  
使用方法について確認しましょう



住宅用火災警報器を設置しましょう



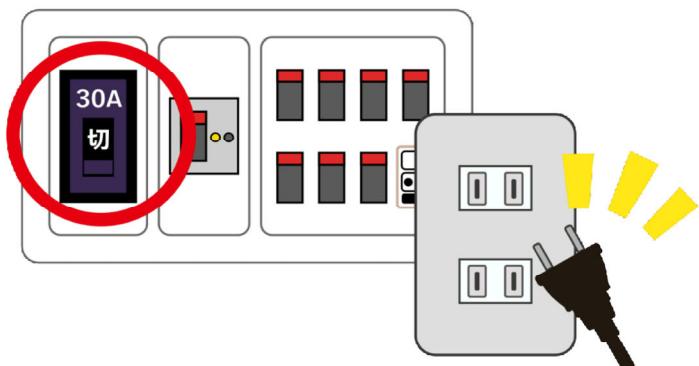
※交換の際は運動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器へ交換しましょう

※設置場所については市町村条例で定められています。

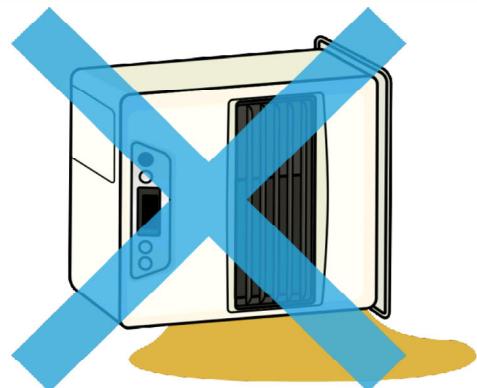


## 地震直後の行動

停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう  
避難するときはブレーカーを落としましょう

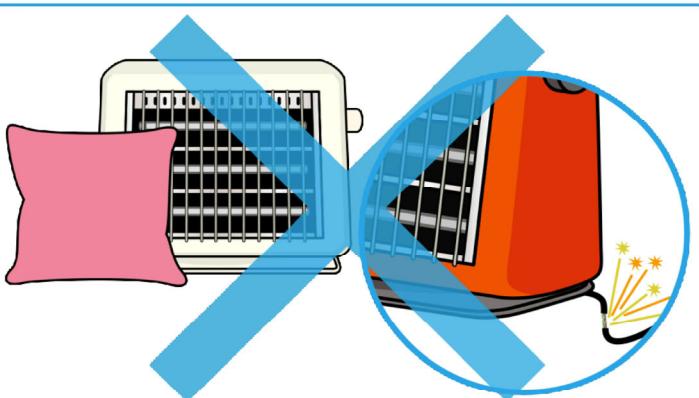


石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう

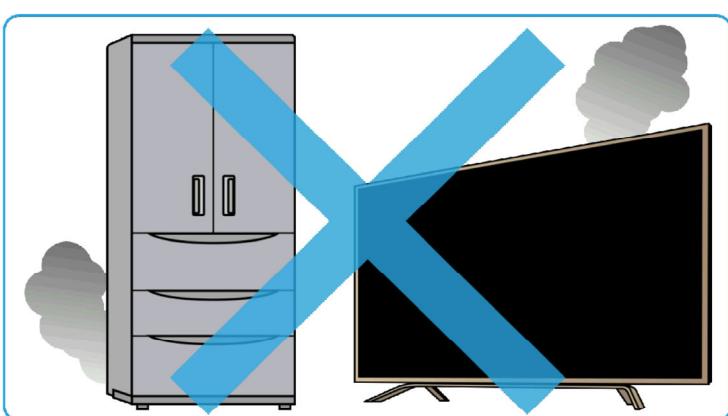


## 地震発生からしばらくして（電気やガスの復旧、避難からもどったら）

ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう



再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか注意を払いましょう（煙、におい）



## 日頃からの対策

消防団や自主防災組織等へ参加しましょう



地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図りましょう



## お問い合わせ先

今すぐ  
対策を!

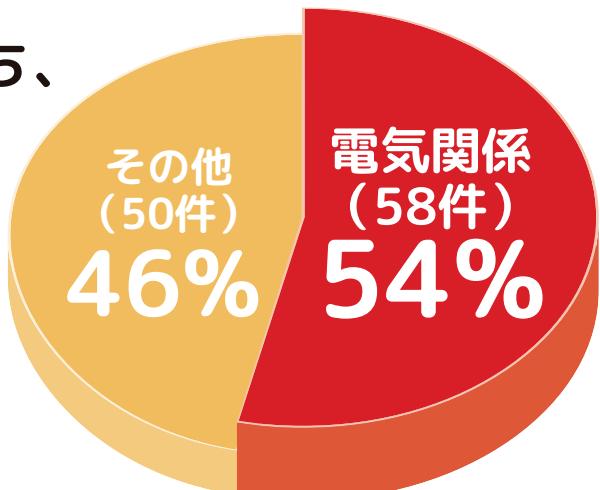


# 地震による 電気火災 対策を!

かん しん  
**感震ブレーカー**  
が効果的です!

東日本大震災における本震  
による火災全111件のうち、  
原因が特定されたものが  
108件。

そのうち過半数が  
**電気関係の出火**でした。



※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

詳しくは裏面をご覧ください! ▶



## 地震が引き起こす電気火災とは？

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことです。

### ⚠ 「電気火災の事例（その1）」

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱。▶ 停電した状態から通電し、ストーブが作動。▶ 紙類に着火 火災が発生。



### ⚠ 「電気火災の事例（その2）」

家具が転倒し、「電気コード」が下敷きや引張で損傷。▶ 通電の瞬間、コードがショート。▶ 散乱した室内で、近くの燃えやすいものに着火。



## 感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

### 【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感じ、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感じ、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5~8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円~2万円	3,000円~4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

（注）住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。



感震ブレーカーを設置して電気火災から「家」・「地域」を守ろう。

### 【この資料に関する問い合わせ先】

経済産業省商務情報政策局商務流通保安グループ電力安全課  
〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号

TEL (03)-3501-1742

経済産業省ホームページ

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_industrial\\_safety/oshirase/2015/10/270105-1.html](http://www.meti.go.jp/policy/safety_industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-1.html)

内閣府ホームページ

<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/index.html>



# 今、備えよう。 大規模地震時における 電気火災対策

その他  
46%

電気関係  
54%

地震による火災の過半数は  
電気が原因です。



過去の大地震では建物の倒壊だけでなく、火災の被害が多く発生しています。  
東日本大震災による火災では、上のグラフのとおり、原因の特定されたもののうち過半数は  
電気に起因したものでした。

<認証マーク・推奨マーク>



## 電気火災対策には感震ブレーカーが効果的です。

感震ブレーカーは震度5強相当の地震を感じて、電気を自動で遮断します。

感震ブレーカーには分電盤タイプ（内蔵型）、分電盤タイプ（後付型）、コンセントタイプ、簡易タイプがあります。

性能評価を受けた製品には、認証マークや推奨マークが表示されています。商品を選ぶときの参考にしましょう。

また、感震ブレーカーの設置には自治体によって補助制度もありますので、ホームページ等を確認し、問い合わせてみましょう。

### 分電盤タイプ（内蔵型）

分電盤に感震遮断機能が内蔵されています。地震が発生し、大きな揺れを感じると、ブザー音になります。夜間の避難などを考慮し、すぐには電気を遮断しない機能を持つ機種もありますが、その場合には感知して一定時間後、ブレーカーが落ち、電源を遮断します。設置には電気工事が必要です。



### 分電盤タイプ（後付型）

既設の分電盤に後から設置できる後付型です。設置には電気工事が必要となります。また、分電盤の形状や種類によって、取付けが可能なものと不可能なものがあるので確認が必要です。



### コンセントタイプ

内蔵されたセンサーが地震を感じるとコンセントからの電気を遮断します。電気が遮断されるのはこのコンセントに接続された家電のみですので、特に出火の危険性の高い電熱器具が接続されているコンセントを中心に設置すると効果的です。避難用の照明や在宅用医療器具等、地震時においても電力供給が必要な機器への電力供給を継続することができます。コンセントタイプには差込型の他に埋込型もあります。



### 簡易タイプ

地震の振動で主幹ブレーカーをOFFに切り替えます。バネで動作するものや、おもりで動作するもの等があります。バネで動作するものは地震を感じると、中のバネの力でバンドが作動し、物理的に主幹ブレーカーをOFFにします。おもりで動作するものは、地震の振動でおもりが落ち、つながったひもで主幹ブレーカーをOFFにします。



# どうして電気から火災が発生するのでしょうか。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことを言います。例えば以下の場合があります。

- 地震の揺れで電気ストーブが転倒したり、ストーブに落ちた洗濯物から出火する。
- 家具が転倒し、その下敷きで断線した電気コードがショートして出火する。
- 水槽が転倒し、水槽用のヒーターが燃える物に触れて出火する。



## 電気火災対策と合わせて取り組みましょう

建物の耐震化や家具の転倒防止に取り組む、暖房器具は耐震自動消火装置付のものにするといった対策や、自宅には住宅用火災警報器や消火器を備え、火が小さいうちは初期消火をするようにしましょう。

家具の転倒防止



消火器



耐震自動消火装置付



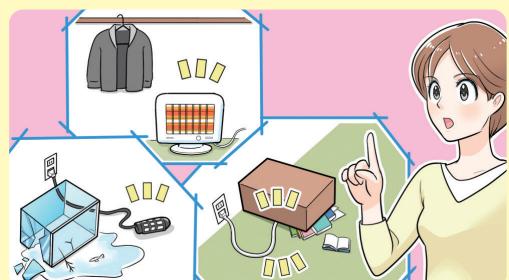
## 感震ブレーカー設置後は電気が止まっても困らないための対策を

感震ブレーカーが作動すると停電となります。夜間の避難に備えて、停電時に作動する足元灯や懐中電灯等の照明器具を常備し、照明を確保しましょう。また、自宅に医療用機器等を設置している場合は、停電に対処できるようにバックアップ電源を確保しましょう。

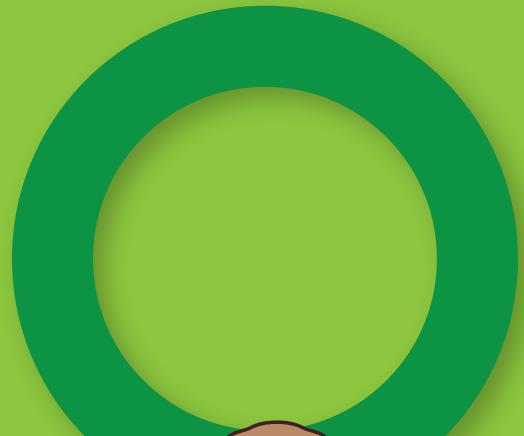


## 電気の使用を再開する際の注意点

揺れが収まった後に電気の使用を再開する際には、ガス漏れ等が発生していないことを十分に確認しましょう。機器の周囲に可燃物がないか、機器やコンセントに水がかかっていないかなど、建物内の電気製品の安全確認を行い、万一の出火に備えて消火器等を準備した上で復電しましょう。また、復電後は、焦げたにおい等の火災の兆候がないか十分に注意し、異常を感じた場合は電気の使用を中止してください。



# ルール・マナーを守って STOP山火事!



キャンプ場でたき火を楽しむ際は、**直火ではなく、必ずたき火台を使用**しましょう。  
**水バケツ等**を準備するなど、**いつでも消火**を行えるようにしましょう。



**野焼き**は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により**原則禁止**されています。  
例外的に行う場合でも、**乾燥、強風時**は行わないようにしましょう。

例外：農業、林業、漁業を営むためにやむを得ないものとして行われるもの

# 屋外での火の使用時は林野火災に注意!

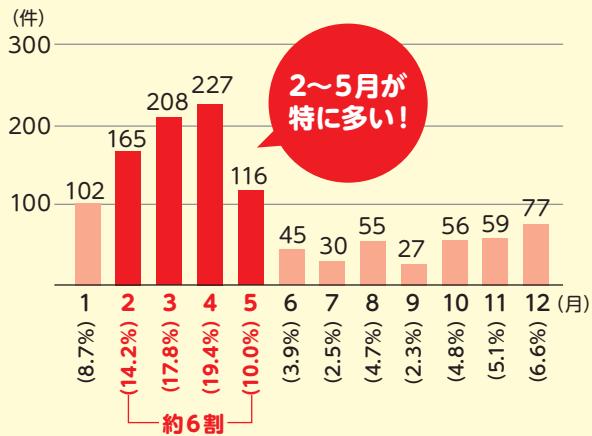
林野火災(山火事)の多くは、火の不注意な取扱いが原因です。

林野火災は急激に広がります。

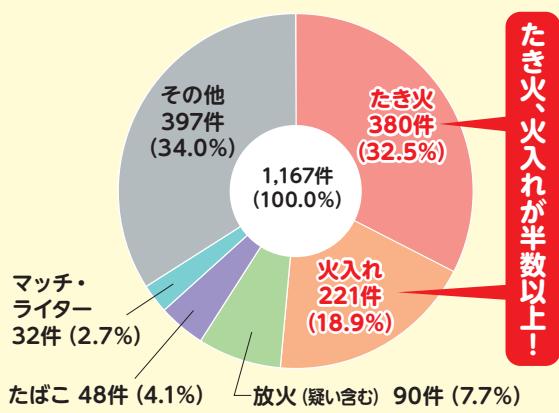
屋外で火を使うときは、次のことに気を付けましょう。



林野火災の月別出火件数(令和2年～6年の平均)



林野火災出火原因(令和2年～6年の平均)



※平均値及び割合は四捨五入したものであり、割合が合わないものがある。

## 林野火災注意報・警報が始まります!

乾燥・少雨により林野火災が発生・延焼しやすい時は「林野火災注意報」が、さらに強風が重なり、林野火災が大規模化しやすい時は「林野火災警報」が市町村長により発令されます。

注意報の発令中は、たき火等の屋外での火の使用を控えてください。また、警報の発令中は、屋外での火の使用は禁止です。

※市町村の条例により異なります。

## たき火をするときは、最寄りの消防署等への事前の届出が必要です。

炎があがり火の粉が出るような、火の取扱いをしようとするときは、まずは市町村(消防本部)に確認してください。



枯れ草焼きの例

飲食店の皆さんへ

グリス  
フィルター

吸込み口

チェック!

あなたのお店の

# 厨房排気設備は 大丈夫?



飲食店火災が増えていきます!

ダクト火災になると消火するのは困難です

ダクト内部の清掃不足は  
ダクト火災につながります!



ガスコンロ等の  
厨房設備



チェック!

グリスフィルターを付けていても  
ダクトの中は油汚れが溜まります

## 火災予防条例(例)

(第3条の4)

(昭和36年11月22日付け自消甲予発第73号)

三 天蓋、グリス除去装置及び火炎伝送防止装置は、容易に清掃ができる構造とすること。

四 天蓋及び天蓋と接続する排気ダクト内の油脂等の清掃を行い、火災予防上支障のないように維持管理すること。



一般社団法人  
日本空調システムクリーニング協会



総務省消防庁

Fire and Disaster Management Agency

## 清掃実施の判断基準

ダクトに油汚れが付着すると油の厚み0.2mmで防火機能を担うダンパーの作動に支障をきたす可能性があります。さらに付着した油の厚み0.4mmの状態で火炎が到達した場合に火災になった事例があります。清掃は0.1mmを推奨しています。



## グリスフィルターを外して清掃時期を自己チェック!

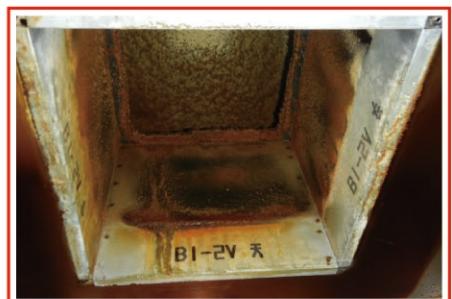
### フード上部の吸込み口付近のダクト内部



0.1mm 清掃推奨



0.2mm 注意



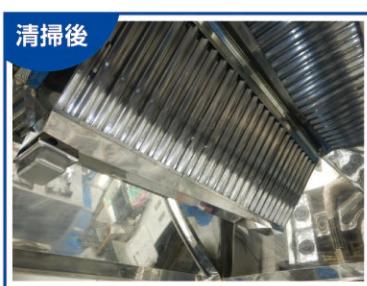
0.4mm ! 火災の危険!

### フード内 グリスフィルター



清掃前

### 清掃後



### 排気ダクト内部



清掃前

### 清掃後



※吸い込み口の風速が弱いとダクトが冷却されず温度が上がってしまい火災になりやすいとのデータがあります。各吸い込み口の風速は設計風量を下回らないようにご注意ください。

## 「厨房排気設備診断士」 資格制度

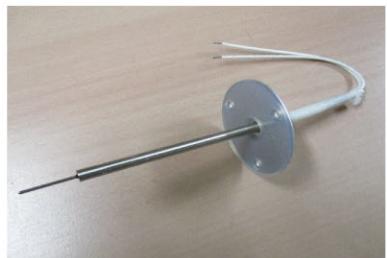


汚染診断及び清掃提案ができる専門的な知識と技術を兼ね備えています。是非ご相談ください。  
※日本空調システムクリーニング協会でご紹介できます。

## フード等用簡易自動消火 装置のメンテナンス



油汚れで固着すると正常な作動の妨げになります。こまめな清掃と点検をしましょう。



自動消火装置のセンサーは清掃が適さないため劣化汚染状況を点検して必要により交換しましょう。



一般社団法人  
日本空調システムクリーニング協会

〒105-0004 東京都港区新橋1-12-9 新橋プレイス7階

TEL: 03-6274-6064 (受付時間 9:00~17:30)

FAX: 03-6274-6065 E-mail: info@jadca.jp

URL: <https://www.jadca.jp/>



ご連絡はこちらまで

火の用心

# ゆるサイと 火災・防災 再かくにん!



近年、リチウムイオン蓄電池による  
火災が増加傾向!!



大きな地震に備えて、  
『感震ブレーカー』を設置!!

感震ブレーカーは、地震の揺れを感じると自動で電気を遮断し、通電火災を未然に防ぎます。特に、木造の家がたくさん集まっている場所など、燃え広がる危険性が高い地域では、その設置が強く推奨されています。

現在、感震ブレーカーの設置率は全国でまだ一部に留まっています。

分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプなど、様々な種類がありますので、ご家庭に合ったタイプを選び、設置を検討しましょう。

